



様式第8号 (第12条関係)

富士見市協働事業提案制度変更(中止・廃止)承認申請書

令和3年8月24日

(宛先) 富士見市長

採択者	団体の名称	みずほ台の日実行委員会
	代表者氏名	実行委員長 大久保 勇次
	所在地	富士見市 [REDACTED]
	電話番号	[REDACTED]

採択協働事業(令和2年3月19日付け富協第108号)について、事業の変更(中止・廃止)承認を受けたいので、富士見市協働事業提案制度実施要綱第12条の規定により、次のとおり申請します。

事業の名称	みずほ台駅開設の日をみんなで祝う「みずほ台の日」	
変更(中止・廃止)の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初企画した事業の実施が今後も困難であることから、事業内容を再検討する必要があるため。	
変更内容	変更後	変更前
添付書類	みずほ台の日実行委員会議事録	

2021年度 第1回 みずほ台の日実行委員会 会議記録

日時	7月29日(木)	会場	水谷公民館 多目的ホール
時間	14:00~14:50	議事録作成人	上杉考哉
議長	大久保勇次	議事録署名人	寺沢靖
出席者	大久保勇次 寺沢靖 富田實 阿由葉勝 木内精一 田中芳雄 細田勉 高野路子 八子朋弘 関野兼太郎 田中栄志 深瀬優子 今成優太 上杉考哉		
アドバイザー	産業経済課 荒田課長 水谷公民館 江口館長 協働推進課 長根副課長・赤田		
次回開催日時場所	未定		

議題(報告・協議・連絡・依頼・各自事項)

議事

①「みずほ台の日」開催について

(参考)

- ・富士見ふるさと祭り →中止
- ・東みずほ台まつり →中止
- ・みずほ台まつり →中止
- ・水谷小学校区地区体育祭→中止

(意見)

- ・現状では開催は困難である。できることを考えていきたい。
- ・昨年もみずほ台まつりを中止したが、10月にイルミネーションだけ実施した。令和3年度も8月末の開催を中止し、10月のイルミネーションを実施の方向で検討している。
- ・県主催イベント等や富士見市の市民文化祭も中止している。令和3年度の開催は厳しい。令和元年度のようににはできない。
- ・富士見ふるさと祭りも検討を重ねて中止となった。やなせ川いかだラリーも中止したが、8月1日に作成したいかだを流すイベントのみYouTubeで配信する。
- ・令和元年度と同様の開催は厳しい。駅で展示を行うことも困難であると思う。開催見送りを考えている。
- ・オンラインでの開催は、対象者や目的などを明確にして行う必要がある。現状では開催は困難であると思う。
- ・令和元年度のように開催するのは難しい。展示についても密を避ける仕組みは難しいのではないか。
- ・人を集めるのはできないので、開催も難しい。
- ・青少年育成市民会議での夏休み宿題教室も360人の申込があったが中止とし、ノート配布のみを行った。今年度については、4つの囃子連のパネルを作成し、伝統文化の展示をしたらよいと思う。
- ・鶴瀬よさこい祭りも中止となった。他の商店会でも何かできないか検討しているが、まとまらない状況のようだ。
- ・みずほ台の日の横断幕やのぼり旗は作成済であるため、予算はかからずみずほ台の日のPRは可能である。
- ・仮にみずほ台の日のPRをした場合、問合せを受けられるのか。
- ・祭りの何をPRするのが無ければ実施するのはどうか。みずほ台の日がいつであるかというのはPRできると思うが、密を生まない工夫が必要である。スタッフもワクチン接種がされていないため、下手にやらない方がよいのかもしれない。
- ・インフルエンザ流行下ではできるのに、コロナ禍では全部できなくなってしまう。今後もコロナは

なくならないので、できる範囲のことはやったほうがよい。

- ・できる範囲でやった方がよいと思うが、案がない。現状の市民感情を考えると、批判的な意見もあると思う。別の手段も考えなければならない。開催は厳しいのではないかと思う。

②富士見市協働事業提案制度補助金について

市：昨年度同様、当初提案した事業内容から変更・中止等する場合、申請し、承認を受ける必要がある。今年度中止とする場合においては、実行委員の意見にもあったが、コロナ禍により、これまでのような事業実施は困難で、新しい形を検討する必要があるため、実施時期を令和4年度に変更するのではなく、制度下での事業実施について、再度提案申請してほしい。

また、簡素化して実施の場合においては、変更承認を受けてからの実施となるが、審議会や庁内委員会による意見を踏まえ、承認の可否を決定するため、現段階で変更が認められるかはお答えできない。加えて、事業目的にあった内容である必要があるため、商店会の活性化や東西商店会の連携につながる必要がある。なお、補助金は同一事業に1回限りであるため、今回一部でも交付した場合には、再度の申請はできなくなる。

補助金については、現時点でまだ交付していない。

○意見交換後、富士見市協働事業提案制度補助金の取扱いも踏まえ、今年度の実施について採決を実施。

・簡素化して実施 3票

・中止 8票

→多数決により今年度の中止を決定。

協働事業提案制度下での事業実施を中止する。